

6 3 6 1 - 7 9 7
平成19年10月25日

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成19年度病害虫発生予察注意報第6号について
平成19年度病害虫発生予察注意報第6号を発表したので送付します。

平成19年度病害虫発生予察注意報第6号

平成19年10月25日
宮 崎 県

病害虫名 タバココナジラミ類
(タバココナジラミ バイオタイプQ、シルバーリーフコナジラミ)

作物名 冬春トマト(大玉・中玉・ミニ)

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 -

3 発生量 やや多

4 注意報の根拠

- 1) 10月中旬の巡回調査におけるタバココナジラミ類(タバココナジラミ バイオタイプQ・シルバーリーフコナジラミ)の発生面積率55.5%(平年23.3% 前年60.0%)、百葉虫数2.4頭(平年1.0頭 前年2.4頭)はともに平年より多である。(図1, 2)
- 2) 向う1ヶ月の長期予報によると、気温は平年より高いと予想されており、本虫の増殖に好適な条件が続くと考えられる。(鹿児島地方气象台 10月19日発表)
- 3) 本虫が媒介するトマト黄化葉巻病は、県内のトマト栽培においても、発生市町村数、発生面積ともに依然として増加傾向にあり、本年10月中旬の巡回調査では、発生面積率33.3%(H18:20.0%、H17:33.4%)と前年~前々年と同程度に多い発生となっている。(表1)

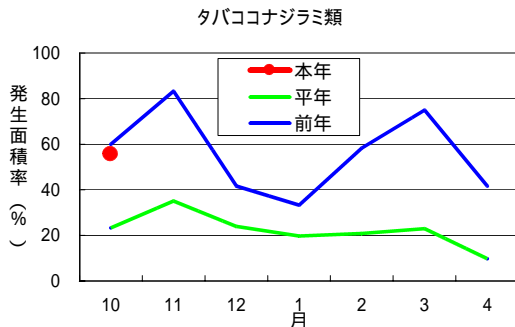


図1 発生面積率の推移

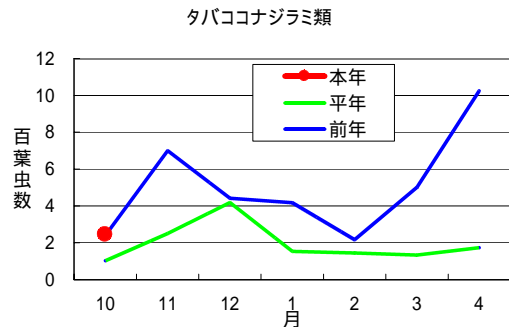


図2 百葉虫数の推移

表1 トマト黄化葉巻病の発生状況

	平成16年5月	平成16年11月	平成17年12月	平成18年12月
市町村数	1市4町	2市11町	3市8町	5市9町
発生面積(ha)	12.3	46.5	43.4	77.5

営農支援課調べ（発生面積は、発生ほ場面積）

5 防除上の注意

長期予報では平年より気温が高いと予想されており、当分の間は野外からの飛び込みに注意を払う必要がある。

低温期になると、施設内だけでの発生になるので、初期に徹底して防除することが後の発生を抑制することにつながる。

以下の点に留意した防除を心掛ける。

- 1) 各種薬剤に対して感受性の低いタバココナジラミ バイオタイプQが発生しており、有効な薬剤に対する抵抗性発達を回避する観点から、化学農薬の連用は極力行わず、より一層のローテーション散布を心がける。また、抵抗性の発達しない昆虫寄生菌等の微生物農薬や気門封鎖型殺虫剤等を防除体系に組み込む。
- 2) 増殖源である栽培地周辺の除草を徹底する。野良生えトマトは格好の増殖場所（ウイルスの伝染源）となるため特に注意して抜き取り処分する。
- 3) 防除薬剤等その他の詳細については、病虫害防除・肥料検査センター、総合農試生物環境部、農業改良普及センター等関係機関に照会する。また、農薬使用基準を遵守し、ポジティブリスト制度への対応を含め、危被害防止とドリフト防止に努める。

《連絡先》

病虫害防除・肥料検査センター 米良

TEL：0985-73-6670 Fax：0985-73-7499

ホームページ：http://www.jppn.ne.jp/miyazaki

E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp